

はじめに

茅ヶ崎市立梅田小学校 校長 原田 和子

本校は、平成26・27年度、学校支援・地域連携実践研究校として「地域協働カリキュラムを創る～児童の主体的な学びを深めるために～」をテーマに研究を進めてまいりました。

本研究は、その研究を発展的に引き継ぐ形で、テーマを「想いをかたちに～創り出すカリキュラムの開発～」と定め、児童・保護者・地域との協働・共生・共創を意識しながら、子どもたちの「想い」が主体的な学びの中で「かたち」となっていくように学習をデザインし、その足跡をカリキュラムとして残すことをめざしてまいりました。

学びというのは本来、強制されるものではなく、内的な「想い」の中から生まれてくるものだと思います。また、教育を行う以上、そこには教育のねらい、言い換えるなら、教師の「想い」というものが不可欠だと思います。この子どもの学びたいという「想い」と、教師の学びたいという「想い」を、両者の協働によって「かたち」にしていくことで、深い学びへとつなげていこうというのが本研究のテーマです。

この2年半、学校全体で、また各学年・学級で、子どもの「想い」と教師の「想い」を両者の協働によって様々な「かたち」にしてまいりました。この紀要には、そのうち平成28年度までの取組が掲載されております。(平成29年度取組につきましては、別冊の資料を御覧ください。)発表会当日は、各学年2クラスずつ(仲よし級は全クラス合同)、同単元中の異なる箇所の授業を御覧いただくとともに、平成29年度取組を中心とした展示を行います。各単元がどのような「想い」のもと創られ、どのような「かたち」をめざしているのかを御覧いただければ幸いです。

最後になりましたが、本研究の推進にあたり、温かい御指導と御支援を賜りました筑波大学教授浜田博文先生、元茅ヶ崎市教育センター教育研究指導員谷井茂久先生に厚く御礼申し上げますとともに、茅ヶ崎市教育委員会をはじめとする関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

あいさつ

茅ヶ崎市教育委員会 教育長 神原 聡

梅田小学校が、平成27年度からの3年間にわたり茅ヶ崎市教育委員会推薦研究校として研究に取り組み、この度その実践の成果を発表されますことに心よりお祝い申し上げます。

梅田小学校は、「共に学びあい、共に育ちあう学校の創造」を目指す学校像として掲げ、学校教育目標の実現に向けて、日々教育実践を進められています。

校内研究では、「想いをかたちに～創り出すカリキュラムの開発～」を研究テーマに、教師の想いと子どもたちの想いを、両者の協働によって「かたち」にしていくことによって、共に学びあい、共に育ちあうことができる環境や関係づくりに取り組んでこられました。

この研究を通して、子どもたちに身に付けさせたい力と教師の課題意識を明確にした授業を公開し、子どもたちの様子を多角的に捉え、教師同士が学びあう授業研究を行うことで、子どもたちが主体的に学ぶための授業改善へと結びつけるとともに、実践のあしあとを今後活かすためのカリキュラムづくりにも取り組んでこられています。また、保護者・地域と響きあうことができる取組を意識し着実に研究を積み重ねてこられました。

これらの取組は、「茅ヶ崎市教育基本計画」に掲げている、明日を担う子どもたちと共に学びの質を高め、子どもたちの「確かな学力」と「豊かな人間性」を育むことに繋がるものであり、この度の研究成果を、今後の茅ヶ崎市の学校教育の発展に向けて、各学校に発信していただくことを切に願っております。

最後になりましたが、本研究のために御指導、御助言を賜りました筑波大学教授浜田博文先生に心より感謝申し上げますとともに、本研究を推進してくださいました校長先生をはじめ、教職員、並びに御協力いただきました関係者、地域や保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も、梅田小学校の教育活動が、益々充実し発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。